



新潟市立結小学校
令和8年1月8日号

いじめ防止への取組

豊かな心部

結小学校では、一人一人の子どもが安心して過ごすことのできる学校づくりを目指しています。そのために、いじめを生まない風土づくりを進めています。主な取組は以下の通りです。

- ☆ どの子どもにとっても分かりやすい学習課題とまとめと振り返りのある授業づくりを推進します。また友達の考えを大切にしようとする話し方と聞き方を指導します。
- ☆ 認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う 温かい学校・学級風土を醸成します。そのために、学級活動や縦割り活動で、友達同士で支え合う経験を積み重ねていきます。
- ☆ 取り組む内容や方法を自分で考えて決定ができるようにします。そのために、児童会活動で目的意識をもち、自己決定できる場を設定します。
- ☆ 人やものとのかかわりを通して、コミュニケーション力や課題解決力、規範意識を育みます。そのために、計画的に体験活動に取り組んでいきます。

子どもたちが主体的に学習に参加できるような授業を展開しています。子どもたちの「できた」「分かった」を大切にしています。



縦割り班活動では、みんなの思いを大切に、遊びや清掃の分担などを決めています。思いやりや責任の気持ちを育てます。



毎週木曜日のピア・サポートタイムでは、人とのかかわり方を学び、そのかかわり方でかかわる場を設定しています



子どもたちが笑顔で学校生活を送ることができるよう、子ども同士のつながりを大事にしていきます。

全国学力・学習状況調査の結果について

確かな学力部

6年生を対象に4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

1 学力状況について

	国語 平均正答率 (%)	算数 平均正答率 (%)	理科 平均正答率 (%)
結小学校	70.0	57.0	57.0
全国 (公立)	66.8	58.0	57.1
新潟県 (公立)	66.0	56.0	55.0
新潟市	68.0	57.0	56.0

全体的な正答率は以上の結果となりました。設問によっては全国平均を上回るものも見られました。

国語と算数について、正答率の低かった問題については次のようなものがありました。

【国語】 【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する 正答率45.7%

時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかをみる問題です。

誤答例の分析と課題

誤答では、言葉の変化ではなく、使い方の変化と捉えていた人が多くいました。それぞれの世代には特有の言葉遣いがあることに気づき、自分たちの言葉への関心を深めていけるよう、指導改善を行っていきます。

【算数】 $3/4 + 2/3$ について、共通する単位分数と、 $3/4$ と $2/3$ が、共通する単位分数のいくつ分になるかを書く。

正答率 23.9%

分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述できるかをみる問題です。

誤答例の分析と課題

通分する必要があることや、計算の手順は分かっている、「なぜそうなるのか」という仕組みを説明することに課題がみられました。「何を基準に分母を揃えたのか」「それは何個分になったのか」など、答えを出す力に加え、理由を考えさせて言語化していくことにより力を入れていきたいと思えます。

2 学習状況調査の結果より

学習状況調査で、「当てはまる」の割合が、全国と比較して、上回った項目の一部を紹介します。

○自分にはよいところがありますか。	54.8% (全国47.3%)
○人が困っているときは、進んで助けていますか。	58.3% (全国49.2%)
○授業や学校生活では、友達やまわりの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。	54.2% (全国34.9%)

この成果は、次のような取組によるものと分析しています。

- ・支持的風土を大切にした学級づくり
- ・かかわりを大切にした授業づくり

一方で家庭におけるゲームの時間が2時間を超える割合が約45%、スマホなどでの動画視聴の時間が2時間を超える割合が約30%という結果になりました。生活チャレンジ週間だけでなく、日常的にメディアの時間のコントロールをしていく必要があると感じました。